

平成 20 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

平成 20 年 2 月 4 日

上場会社名 ピー・シー・エー株式会社 上場取引所 東証第 2 部
 コード番号 9629 URL <http://www.pca.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水谷 学
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長兼総務部長 (氏名) 佐藤 文昭
 TEL (03) 5211-2711

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 12 月 31 日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	4,437	△4.3	830	△22.8	881	△20.6	517	△19.3
19年3月期第3四半期	4,635	8.7	1,074	15.3	1,110	14.6	641	11.7
19年3月期	6,336	—	1,533	—	1,582	—	852	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	69	86	—	—
19年3月期第3四半期	85	46	—	—
19年3月期	113	81	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	12,491	—	10,487	—	84.0	1,420	94	
19年3月期第3四半期	12,211	—	10,242	—	83.9	1,373	19	
19年3月期	12,855	—	10,254	—	79.8	1,380	43	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	銭
20年3月期第3四半期	233	—	△1,288	—	△255	—	1,502	—
19年3月期第3四半期	265	—	△3,414	—	△337	—	2,838	—
19年3月期	830	—	△3,951	—	△390	—	2,813	—

2. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日) 【参考】

(%表示は、対前期増減率)

通 期	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
	6,790	7.2	1,321	△13.9	1,365	△13.8	812	△4.8	109	33

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う
特定子会社の異動） : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

(注) 詳細は、3 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成 19 年 5 月 14 日に発表いたしました業績予想を変更しておりません。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係わる本資料の発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績等は、経済情勢、市場動向など様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期における我が国経済は、企業業績の回復による設備投資の増加、雇用情勢等の改善等により景気は、緩やかながらも回復基調を辿りました。しかしながら、米国でのサブプライムローン問題による損失拡大懸念や原油をはじめとした素材価格の上昇を価格転嫁できない内需関連企業や中小企業は、厳しい経営環境となっております。

当第3四半期における当社グループの業績につきましては、前年同期比で比較すると若干弱い展開となっております。その原因としては、昨年施行された「新会社法」および「公益法人会計制度改正」による新規・バージョンアップの需要が一段落したため、製品売上が前期比で落ち込んだ影響が考えられます。

一方で、安定的収入基盤である「保守契約売上」については、「保守加入権付きバージョンアップ」の浸透もあり、堅調な伸びを見せております。

この結果、当第3四半期の連結業績につきましては、売上高4,437百万円、経常利益881百万円及び純利益517百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期における財政状態（連結）の変動状況におきましては、当社グループの財政状態に重要な影響を及ぼすような事象等の特段の記載を要するものはございません。

総資産は、前連結会計年度末に比べ363百万円の減少となりました。

株主資本は、利益剰余金の増加等により、(同)261百万円の増加となりました。

(連結キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期における連結キャッシュ・フローの状況におきましては、定期預金の預入による支出などにより、前連結会計年度末に比べ現金及び現金同等物が1,310百万円の減少となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益などにより、233百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預入による支出などにより、1,288百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払等により、255百万円の支出となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期末時点において、前回の決算発表時（平成19年5月14日）に公表した業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の税金費用は、法定実行税率をベースとした年間予測税率による簡便な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

5. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期末)	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成19年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
I. 流動資産					
現金及び預金	4,213	2,847			2,822
受取手形及び売掛金	679	704			964
たな卸資産	6	2			2
繰延税金資産	503	465			533
その他	78	37			36
流動資産合計	5,480	4,056	1,424	△35.1	4,359
II. 固定資産					
有形固定資産	4,336	4,362			4,355
無形固定資産	94	78			64
長期性預金	2,000	3,000			3,500
投資その他の資産	580	714			576
固定資産合計	7,010	8,154	△1,143	△14.0	8,495
資産合計	12,491	12,211	280	2.3	12,855
(負債の部)					
I. 流動負債					
買掛金	62	73			81
前受収益	1,150	1,148			1,269
未払法人税等	—	6			349
その他	322	325			478
流動負債合計	1,535	1,554	△18	△1.2	2,179
II. 固定負債					
繰延税金負債	—	—			—
長期前受収益	66	68			71
退職給付引当金	268	235			240
役員退職給与引当金	134	109			109
固定負債合計	469	414	55	13.4	421
負債合計	2,004	1,968	36	1.8	2,601
(純資産の部)					
I. 株主資本					
資本金	890	890	—		890
資本剰余金	1,919	1,919	—		1,919
利益剰余金	8,334	7,806	528		8,017
自己株式	△504	△395	△108		△448
株主資本合計	10,640	10,219	420	4.1	10,378
II. 評価・換算差額等	△152	22	△175	△764.6	△123
III. 少数株主持分	—	—	—	—	—
純資産合計	10,487	10,242	244	2.4	10,254
負債、純資産合計	12,491	12,211	280	2.3	12,855

6. (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	増 減		(参考) 平成19年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I. 売上高	4,437	4,635	△197	△4.3	6,336
II. 売上原価	1,164	1,289	△124	△9.7	1,708
売上総利益	3,273	3,346	△73	△2.2	4,627
III. 販売費及び一般管理費	2,442	2,271	171	7.5	3,093
営業利益	830	1,074	△244	△22.8	1,533
IV. 営業外収益	52	41	10	25.2	56
V. 営業外費用	1	6	△5	△78.5	6
経常利益	881	1,110	△229	△20.6	1,582
VI. 特別利益	0	—	0	—	1
VII. 特別損失	—	2	△2	—	6
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	881	1,107	△226	△20.4	1,576
税金費用	363	466	△102	△22.0	724
四半期(当期) 純利益	517	641	△123	△19.3	852

7. (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区 分	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	(参考) 平成19年3月期
	金 額	金 額	金 額
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	881	1,103	1,576
減価償却費	54	51	69
無形固定資産の償却費	24	112	135
売上債権の増減額(増加：△)	285	338	78
仕入債務の増減額(減少：△)	△19	△14	△5
前受収益の増減額(減少：△)	△124	△83	40
その他	△155	△284	△105
小 計	946	1,225	1,788
利息及び配当金の受取額	33	21	22
法人税等の支払額	△746	△980	△981
営業活動によるキャッシュ・フロー	233	265	830
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の預入による支出	△2,701	△3,000	△3,502
定期預金の払戻による収入	1,500	—	—
有形固定資産の取得による支出	△36	△13	△19
無形固定資産の取得による支出	△58	△58	△86
投資有価証券の取得による支出	△4	△347	△349
その他	13	6	6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,288	△3,414	△3,951
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー			
配当金の支払額	△200	△199	△199
自己株式の取得による支出	△55	△138	△191
財務活動によるキャッシュ・フロー	△255	△337	△390
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—	—
V. 現金及び現金同等物の増減額(減少：△)	△1,310	△3,486	△3,511
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	2,813	6,324	6,324
VII. 現金及び現金同等物の期末残高	1,502	2,838	2,813